

資料第 1313 号



政府統計

平成 27 年度
学校保健統計
(学校保健統計調査報告書)

平成 28 年 3 月

広 島 県

目 次

調査の概要	1
調査結果の概要	3
I 発育状態	3
1 平均体格	3
(1) 身長	3
(2) 体重	4
(3) 座高	5
2 親世代の体格との比較	6
3 肥満傾向児の出現率	7
4 痩身傾向児の出現率	8
II 健康状態	9
1 主な疾病・異常の被患率等	9
2 主な疾病・異常等の状況	10
3 主な疾病・異常等の推移	12
III 全国値との比較	13
1 発育状態	13
(1) 全国平均体格との差	13
(2) 総発育量の全国平均値との比較	14
(3) 17歳の体格の推移	15
(4) 肥満傾向児・痩身傾向児の全国出現率との比較	16
2 健康状態	18

調査の概要

1 調査の目的

この調査は、文部科学省が昭和23年度から実施しており、学校における幼児、児童及び生徒の発育状態及び健康状態を明らかにし、学校保健行政上の基礎資料を得ることを目的とする。（基幹統計）

2 調査の時期

学校保健安全法（昭和33年法律第56号）による健康診断の結果に基づき、平成27年4月1日から平成27年6月30日の間に実施したものである。

3 調査の範囲・対象

県内の国立・公立・私立の幼稚園、小学校、中学校、中等教育学校及び高等学校のうち、満5歳から満17歳までの幼児、児童及び生徒の一部を、文部科学省が定める方式により各学校区分毎に無作為抽出している。調査実施校数、調査対象者数及び抽出率は次のとおりである。

区 分		幼稚園	小学校	中学校	高等学校	計
学 校 総 数		311園	508校	273校	129校	1,221校
うち 調 査 実 施 校 数		36園	61校	41校	32校	170校
園児・児童・生徒総数(A)		35,052人	152,704人	79,533人	73,644人	340,933人
発 育 状 態 調 査	実施校1校当りの 調査対象者数	5歳児男女別 各22人 合計44人	年齢別男女別 各8人 合計96人	年齢別男女別 各20人 合計120人	年齢別男女別 各15人 合計90人	—
	調査対象者数(B)	1,363人	5,591人	4,648人	2,642人	14,244人
	抽出率 (B)／(A)	3.9%	3.7%	5.8%	3.6%	4.2%
健 康 状 態 調 査	実施校1校当り 調査対象者数	5歳児の 全園児数	当該年齢の 全児童数	当該年齢の 全生徒数	当該年齢の 全生徒数	—
	調査対象者数(C)	2,226人	31,525人	19,136人	23,971人	76,858人
	抽出率 (C)／(A)	6.4%	20.6%	24.1%	32.5%	22.5%

(注)1 調査実施校は、幼児・児童・生徒数に応じ、層化抽出法により抽出した。

※ 層化抽出法：県内の学校を児童生徒数が大きい方から小さい方へと並び替えて層化した各層内で、調査実施校を単純無作為抽出する。

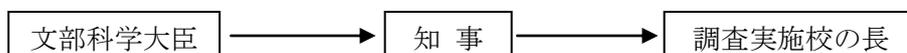
2 学校総数、園児・児童・生徒数は、平成27年度学校基本調査結果報告による。

また、高等学校の18歳以上の生徒及び通信制の在学生徒は調査対象から除いている。（年齢は、平成27年4月1日現在の満年齢）

3 中学校には中等教育学校の前期課程を含む。

4 調査の方法

調査の調査系統は、次のとおりである。なお、平成16年度から従来の調査票に加え電子調査票システムにより、インターネット上からも調査票を収集している。



5 調査事項

学校保健安全法（昭和33年法律第56号）に基づき各学校で実施された健康診断結果により、次の発育状態及び健康状態について調査する。

- (1) 幼児，児童及び生徒の発育状態（身長，体重及び座高）
- (2) 幼児，児童及び生徒の健康状態（栄養状態，脊柱・胸郭の疾病・異常の有無，視力，聴力，眼の疾病・異常の有無，耳鼻咽喉疾患・皮膚疾患の有無，歯及び口腔の疾病・異常の有無，結核の有無及び結核に関する検診の結果，心臓の疾病・異常の有無，尿，寄生虫卵の有無，その他の疾病・異常の有無）

なお，調査対象年齢は次表のとおりである。

区 分	幼稚園	小 学 校						中 学 校			高 等 学 校		
	5歳	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
聴 力 検 査	—	○	○	○	—	○	—	○	—	○	○	—	○
結 核 検 査	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	—
結核に関する検診	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	—	—
心電図検査	—	○	—	—	—	—	—	○	—	—	○	—	—
尿糖検査	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
寄生虫卵検査	○	○	○	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—
永久歯のむし歯(う歯)等数	—	—	—	—	—	—	—	○	—	—	—	—	—
上記以外の検査	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

(注) ○印は調査対象年齢を表す。

6 利用上の注意

統計表の符号の用法は，該当者がいない場合「—」，調査対象外「…」，計数が単位未満「0.0」「0.00」，減少「△」，標本サイズが小さいことや標準誤差が5%以上等のため統計数値を公表しない場合「X」とした。

7 留意事項

この報告書は，平成27年度学校保健統計調査（文部科学省所管）について，文部科学省の確報集計結果等を基に，広島県分について発育状態及び健康状態に関して取りまとめたものである。

調査結果の概要

I 発育状態

1 平均体格

平成27年度の幼稚園、小学校、中学校及び高等学校における幼児、児童及び生徒の身長、体重、座高の平均を年齢別、男女別にみると次のとおりである。

(1) 身長 (表1, 図1, 図2)

男子の身長(平均値。以下同じ。)は、8歳、9歳、10歳、12歳、13歳、14歳及び16歳で前年度より高くなっている。各年齢間の身長差が最も大きいのは、11歳～12歳の8.1cmとなっている。

女子の身長は、5歳、7歳、9歳、10歳、13歳、14歳、15歳及び16歳で前年度より高くなっている。各年齢間の身長差が最も大きいのは10歳～11歳の6.7cmとなっている。

表1 年齢別 身長の平均値

(単位:cm)

区分		幼稚園	小学校						中学校			高等学校		
		5歳	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
男子	平成27年度 A	109.9	116.1	121.9	127.7	133.1	138.3	144.4	152.5	158.9	164.5	167.5	169.2	169.8
	平成26年度 B	110.3	116.1	121.9	127.6	132.8	138.1	144.4	151.7	158.8	164.0	168.1	168.4	169.8
	前年度差 A-B	△ 0.4	0.0	0.0	0.1	0.3	0.2	0.0	0.8	0.1	0.5	△ 0.6	0.8	0.0
女子	平成27年度 A	109.1	114.9	121.2	126.7	132.9	139.5	146.2	151.1	154.2	155.8	156.7	157.2	157.3
	平成26年度 B	109.0	114.9	120.6	126.9	132.7	139.4	146.5	151.1	154.0	155.4	156.4	156.8	157.6
	前年度差 A-B	0.1	0.0	0.6	△ 0.2	0.2	0.1	△ 0.3	0.0	0.2	0.4	0.3	0.4	△ 0.3

図1 年齢別 身長の平均値の推移 男子

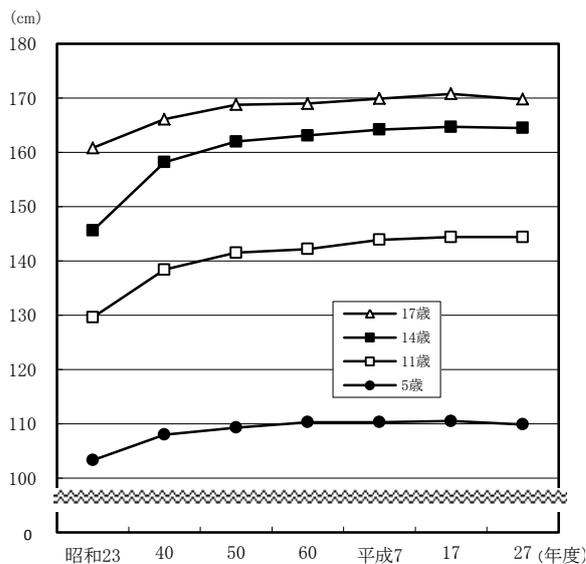
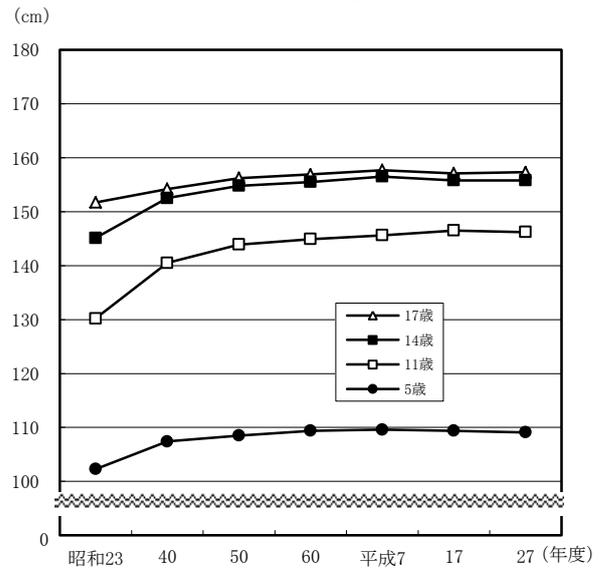


図2 年齢別 身長の平均値の推移 女子



(2) 体 重 (表2, 図3, 図4)

男子の体重(平均値。以下同じ。)は、9歳、12歳、13歳、14歳及び15歳で前年度より重くなっている。各年齢間の体重差が最も大きいのは、11歳～12歳の6.5kgとなっている。

女子の体重は、5歳、6歳、10歳、12歳、13歳、15歳及び17歳で前年度より重くなっている。各年齢間の体重差が最も大きいのは、11歳～12歳の5.2kgとなっている。

表2 年齢別 体重の平均値

(単位:kg)

区分		幼稚園	小学校						中学校			高等学校		
		5歳	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
男子	平成27年度 A	18.6	21.1	23.8	26.6	30.1	33.0	37.6	44.1	49.4	54.0	59.0	60.3	61.4
	平成26年度 B	18.8	21.4	23.8	26.9	29.7	33.7	37.6	43.2	48.1	53.4	58.8	60.5	62.6
	前年度差 A-B	△ 0.2	△ 0.3	0.0	△ 0.3	0.4	△ 0.7	0.0	0.9	1.3	0.6	0.2	△ 0.2	△ 1.2
女子	平成27年度 A	18.4	20.8	23.2	26.0	29.5	33.9	38.4	43.6	47.3	49.4	51.8	52.2	52.8
	平成26年度 B	18.3	20.5	23.3	26.2	29.5	33.6	39.5	43.1	46.6	49.5	50.2	52.5	52.7
	前年度差 A-B	0.1	0.3	△ 0.1	△ 0.2	0.0	0.3	△ 1.1	0.5	0.7	△ 0.1	1.6	△ 0.3	0.1

図3 年齢別 体重の平均値の推移 男子

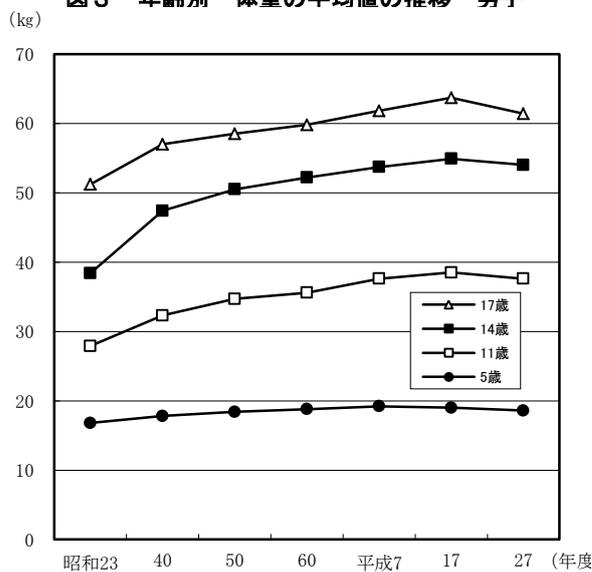
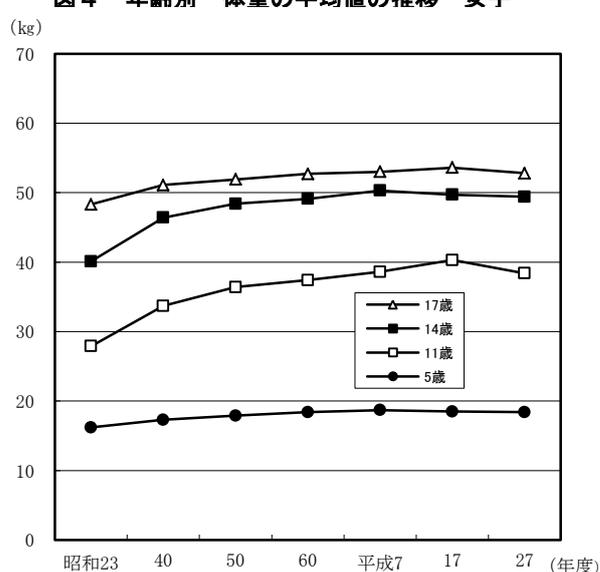


図4 年齢別 体重の平均値の推移 女子



(3) 座高 (表3, 図5, 図6)

男子の座高(平均値。以下同じ。)は、5歳、12歳、13歳、14歳及び16歳で前年度より高くなっている。各年齢間の座高差が最も大きいのは、11歳～12歳の3.9cmとなっている。

女子の座高は、5歳、6歳、7歳、14歳及び16歳で前年度よりも高くなっている。各年齢間の座高差が最も大きいのは、10歳～11歳の3.5cmとなっている。

表3 年齢別 座高の平均値

(単位:cm)

区分		幼稚園	小学校						中学校			高等学校		
		5歳	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
男子	平成27年度 A	61.7	64.6	67.3	70.1	72.4	74.7	77.4	81.3	84.8	87.7	90.1	91.2	91.6
	平成26年度 B	61.6	64.6	67.4	70.1	72.4	74.8	77.4	81.1	84.5	87.6	90.3	90.7	91.7
	前年度差 A-B	0.1	0.0	△ 0.1	0.0	0.0	△ 0.1	0.0	0.2	0.3	0.1	△ 0.2	0.5	△ 0.1
女子	平成27年度 A	61.3	64.2	67.0	69.7	72.5	75.7	79.2	82.0	83.6	84.8	85.3	85.7	85.7
	平成26年度 B	61.1	64.1	66.9	69.7	72.5	75.7	79.4	82.1	83.7	84.6	85.4	85.6	85.9
	前年度差 A-B	0.2	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	△ 0.2	△ 0.1	△ 0.1	0.2	△ 0.1	0.1	△ 0.2

図5 年齢別 座高の平均値の推移 男子

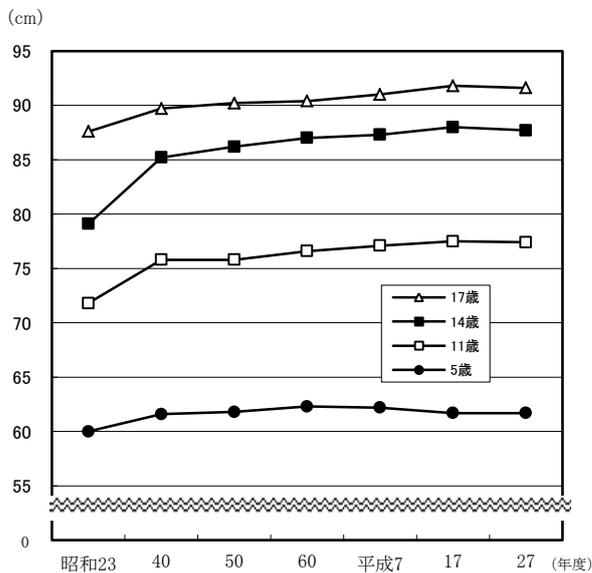
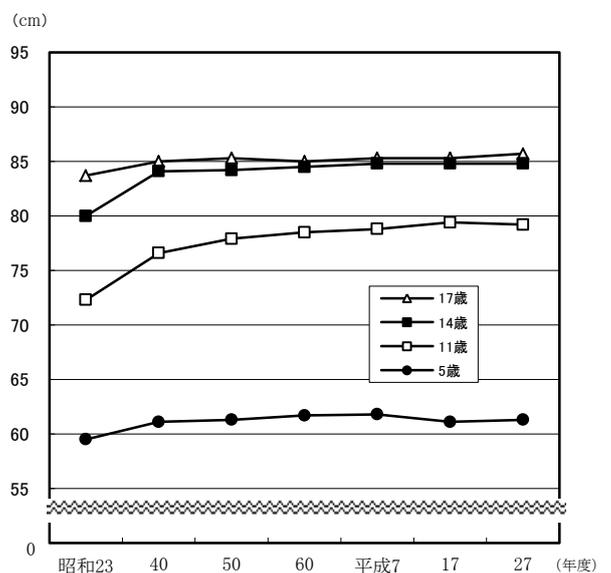


図6 年齢別 座高の平均値の推移 女子



2 親世代の体格との比較 (表4)

親の世代である30年前の昭和60年度の体格を比較すると、男子の5歳の身長、女子の5歳及び6歳の身長、男子の5歳の体重、男子の5歳、6歳及び7歳の座高、女子の5歳、6歳、7歳、8歳及び13歳の座高については下回っている。

男子では、最も親世代と差があるのは12歳で、身長は3.2cm高く、体重は3.0kg重く、座高は1.4cm高くなっている。

女子では、最も親世代と差があるのは11歳で、身長は1.3cm高く、体重は1.0kg重く、座高は0.7cm高くなっている。

表4 親世代の体格との比較

区 分			身 長 (cm)			体 重 (kg)			座 高 (cm)		
			平成27年度 A	昭和60年度 (親世代) B	世代間差 A-B	平成27年度 A	昭和60年度 (親世代) B	世代間差 A-B	平成27年度 A	昭和60年度 (親世代) B	世代間差 A-B
男 子	幼稚園	5歳	109.9	110.3	△ 0.4	18.6	18.8	△ 0.2	61.7	62.3	△ 0.6
		小学校	6歳	116.1	115.5	0.6	21.1	20.9	0.2	64.6	65.0
	7		121.9	121.2	0.7	23.8	23.1	0.7	67.3	67.4	△ 0.1
	8		127.7	127.0	0.7	26.6	26.0	0.6	70.1	70.0	0.1
	9		133.1	132.3	0.8	30.1	29.1	1.0	72.4	72.4	0.0
	10		138.3	136.8	1.5	33.0	32.1	0.9	74.7	74.2	0.5
	11		144.4	142.2	2.2	37.6	35.6	2.0	77.4	76.6	0.8
	中学校		12歳	152.5	149.3	3.2	44.1	41.1	3.0	81.3	79.9
		13	158.9	156.8	2.1	49.4	46.8	2.6	84.8	83.7	1.1
		14	164.5	163.1	1.4	54.0	52.2	1.8	87.7	87.0	0.7
	高等学校	15歳	167.5	167.0	0.5	59.0	57.0	2.0	90.1	89.2	0.9
		16	169.2	169.1	0.1	60.3	59.3	1.0	91.2	90.4	0.8
		17	169.8	169.0	0.8	61.4	59.8	1.6	91.6	90.4	1.2
	女 子	幼稚園	5歳	109.1	109.4	△ 0.3	18.4	18.4	0.0	61.3	61.7
小学校			6歳	114.9	115.4	△ 0.5	20.8	20.5	0.3	64.2	64.7
		7	121.2	120.6	0.6	23.2	22.7	0.5	67.0	67.1	△ 0.1
		8	126.7	126.4	0.3	26.0	25.5	0.5	69.7	69.8	△ 0.1
		9	132.9	131.7	1.2	29.5	28.5	1.0	72.5	72.2	0.3
		10	139.5	138.9	0.6	33.9	33.2	0.7	75.7	75.5	0.2
		11	146.2	144.9	1.3	38.4	37.4	1.0	79.2	78.5	0.7
		中学校	12歳	151.1	150.3	0.8	43.6	42.5	1.1	82.0	81.6
13			154.2	153.8	0.4	47.3	46.5	0.8	83.6	83.7	△ 0.1
14			155.8	155.5	0.3	49.4	49.1	0.3	84.8	84.5	0.3
高等学校		15歳	156.7	156.2	0.5	51.8	50.8	1.0	85.3	85.0	0.3
		16	157.2	157.1	0.1	52.2	52.1	0.1	85.7	85.6	0.1
		17	157.3	156.9	0.4	52.8	52.7	0.1	85.7	85.0	0.7

3 肥満傾向児の出現率 (表5)

肥満傾向児の出現率は、男子は15歳が最も高く、5歳が最も低い。女子は、12歳が最も高く、5歳が最も低い。また、前年度と比較すると、女子は、7歳、8歳及び11歳を除いて増加している。

表5 年齢別 肥満傾向児の出現率 (単位:%)

区分		肥満傾向児の出現率					
		男子			女子		
		平成27年度 A	平成26年度 B	前年度差 A-B	平成27年度 A	平成26年度 B	前年度差 A-B
幼稚園	5歳	1.35	4.22	△ 2.87	2.26	2.16	0.10
	小学校	6歳	3.93	5.17	△ 1.24	4.98	3.18
	7歳	5.56	5.03	0.53	4.65	5.75	△ 1.10
	8歳	6.17	8.36	△ 2.19	5.24	6.10	△ 0.86
	9歳	8.52	8.32	0.20	7.54	6.84	0.70
	10歳	5.11	10.06	△ 4.95	8.48	8.11	0.37
	11歳	8.29	7.77	0.52	6.53	12.97	△ 6.44
中学校	12歳	8.89	9.00	△ 0.11	9.97	7.67	2.30
	13歳	10.42	7.73	2.69	9.16	6.97	2.19
	14歳	9.58	8.58	1.00	7.39	6.78	0.61
高等学校	15歳	12.06	10.15	1.91	7.11	5.24	1.87
	16歳	9.08	11.59	△ 2.51	7.50	5.76	1.74
	17歳	7.40	12.29	△ 4.89	8.24	5.64	2.60

(注) 肥満傾向児とは、性別・年齢別・身長別標準体重から肥満度(過体重度)を求め、肥満度が20%以上の者である。

算式は、次のとおりである。以下の各表において同じ。

$$\text{肥満度} = [\text{実測体重(kg)} - \text{身長別標準体重(kg)}] / \text{身長別標準体重(kg)} \times 100(\%)$$

身長別標準体重は、次表の身長別標準体重を求める係数表のa,bと実測身長により求める。

$$\text{身長別標準体重(kg)} = a \times \text{実測身長(cm)} - b$$

身長別標準体重を求める係数表

年齢	係数	男		女	
		a	b	a	b
5		0.386	23.699	0.377	22.750
6		0.461	32.382	0.458	32.079
7		0.513	38.878	0.508	38.367
8		0.592	48.804	0.561	45.006
9		0.687	61.390	0.652	56.992
10		0.752	70.461	0.730	68.091
11		0.782	75.106	0.803	78.846
12		0.783	75.642	0.796	76.934
13		0.815	81.348	0.655	54.234
14		0.832	83.695	0.594	43.264
15		0.766	70.989	0.560	37.002
16		0.656	51.822	0.578	39.057
17		0.672	53.642	0.598	42.339

出典：公益財団法人日本学校保健会『児童生徒の健康診断マニュアル(改訂版)』平成18年

4 痩身傾向児の出現率 (表6)

痩身傾向児の出現率は、男子は10歳が最も高く、13歳が最も低い。女子は、12歳が最も高く、7歳が最も低い。また、前年度と比較すると、女子は14歳及び17歳で増加している。

表6 年齢別 痩身傾向児の出現率 (単位:%)

区 分		痩身傾向児の出現率					
		男 子			女 子		
		平成27年度 A	平成26年度 B	前年度差 A-B	平成27年度 A	平成26年度 B	前年度差 A-B
幼稚園	5歳	-	0.55	-	0.40	0.91	△ 0.51
	小学校	6歳	0.89	-	-	0.42	0.84
	7歳	-	0.44	-	0.28	0.53	△ 0.25
	8歳	0.88	0.46	0.42	0.73	1.22	△ 0.49
	9歳	1.37	2.01	△ 0.64	1.17	1.80	△ 0.63
	10歳	3.14	1.32	1.82	1.96	2.12	△ 0.16
	11歳	1.65	3.65	△ 2.00	2.39	3.38	△ 0.99
中学校	12歳	2.60	1.14	1.46	3.81	4.05	△ 0.24
	13歳	0.86	1.89	△ 1.03	3.29	4.09	△ 0.80
	14歳	1.26	1.67	△ 0.41	2.53	1.62	0.91
高等学校	15歳	1.43	2.06	△ 0.63	1.95	2.08	△ 0.13
	16歳	1.80	2.62	△ 0.82	1.32	1.74	△ 0.42
	17歳	1.16	2.90	△ 1.74	1.19	1.17	0.02

(注) 痩身傾向児とは、性別・年齢別・身長別標準体重から肥満度(過体重度)を求め、肥満度が-20%以下の者である。

(参考) 広島県の平成27年度調査の平均身長の場合の標準体重

区 分		男 子			女 子		
		平均身長 (cm)	平均身長時の 標準体重 (kg)	平均体重 (kg)	平均身長 (cm)	平均身長時の 標準体重 (kg)	平均体重 (kg)
幼稚園	5歳	109.9	18.7	18.6	109.1	18.4	18.4
	小学校	6歳	116.1	21.1	21.1	114.9	20.5
	7歳	121.9	23.7	23.8	121.2	23.2	23.2
	8歳	127.7	26.8	26.6	126.7	26.1	26.0
	9歳	133.1	30.0	30.1	132.9	29.7	29.5
	10歳	138.3	33.5	33.0	139.5	33.7	33.9
	11歳	144.4	37.8	37.6	146.2	38.6	38.4
中学校	12歳	152.5	43.8	44.1	151.1	43.3	43.6
	13歳	158.9	48.2	49.4	154.2	46.8	47.3
	14歳	164.5	53.2	54.0	155.8	49.3	49.4
高等学校	15歳	167.5	57.3	59.0	156.7	50.8	51.8
	16歳	169.2	59.2	60.3	157.2	51.8	52.2
	17歳	169.8	60.5	61.4	157.3	51.7	52.8

II 健康状態

1 主な疾病・異常の被患率等 (表7)

疾病・異常を罹患率等別にみると、幼稚園、中学校及び高等学校では、「裸眼視力1.0未満の者」の割合が最も高く、次いで、「むし歯(う歯)」の者(処置完了者を含む。以下同じ。)の順となっている。小学校では、「むし歯(う歯)」の者の割合が最も高く、次いで「裸眼視力1.0未満の者」となっている。

表7 主な疾病・異常の被患率等の順位 (単位:%)

幼稚園			小学校			中学校			高等学校		
順位	調査項目	割合	順位	調査項目	割合	順位	調査項目	割合	順位	調査項目	割合
1	裸眼視力1.0未満の者	28.9	1	むし歯(う歯)	48.8	1	裸眼視力1.0未満の者	54.4	1	裸眼視力1.0未満の者	X
2	むし歯(う歯)	28.8	2	裸眼視力1.0未満の者	30.8	2	むし歯(う歯)	31.5	2	むし歯(う歯)	49.9
3	鼻・副鼻腔疾患	5.8	3	鼻・副鼻腔疾患	9.5	3	鼻・副鼻腔疾患	10.3	3	鼻・副鼻腔疾患	9.3
4	歯列・咬合	4.6	4	歯列・咬合	6.0	4	眼の疾病・異常	6.6	4	歯肉の状態	6.7
5	耳疾患	4.4		歯・口腔のその他の疾病・異常	6.0	5	歯列・咬合	5.5	5	歯列・咬合	5.2
6	眼の疾病・異常	4.0	6	眼の疾病・異常	5.7	6	心電図異常	4.2		歯垢の状態	5.2
7	アトピー性皮膚炎	3.2	7	耳疾患	4.5	7	歯肉の状態	4.1	7	眼の疾病・異常	4.9
8	口腔咽喉頭疾患・異常	1.9	8	アトピー性皮膚炎	4.3	8	蛋白検出の者	4.0	8	心電図異常	3.8
9	その他の疾病・異常	1.7	9	心電図異常	3.9	9	歯垢の状態	3.8	9	蛋白検出の者	3.6
10	その他の皮膚疾患	1.4	10	ぜん息	3.6	10	耳疾患	3.3	10	アトピー性皮膚炎	2.1

(注)1 学校における健康診断の受検者等のうち、疾病・異常有の項目を学校種別毎に割合の高い順に上位から10位まで表示している。

2 「口腔咽喉頭疾患・異常」とは、アデノイド、扁桃肥大、咽頭炎、喉頭炎、扁桃炎、音声言語異常のある者等である。

3 「歯・口腔のその他の疾病・異常」とは、口角炎、口唇炎、口内炎、唇裂、口蓋裂、舌小帯異常、唾石、癒合歯、要注意乳歯等のある者等である。

4 「その他の皮膚疾患」とは、伝染性皮膚疾患、毛髪疾患等、アトピー性皮膚炎以外の皮膚疾患と判定された者である。

5 「心電図異常」とは、心電図検査の結果、異常と判定された者である。

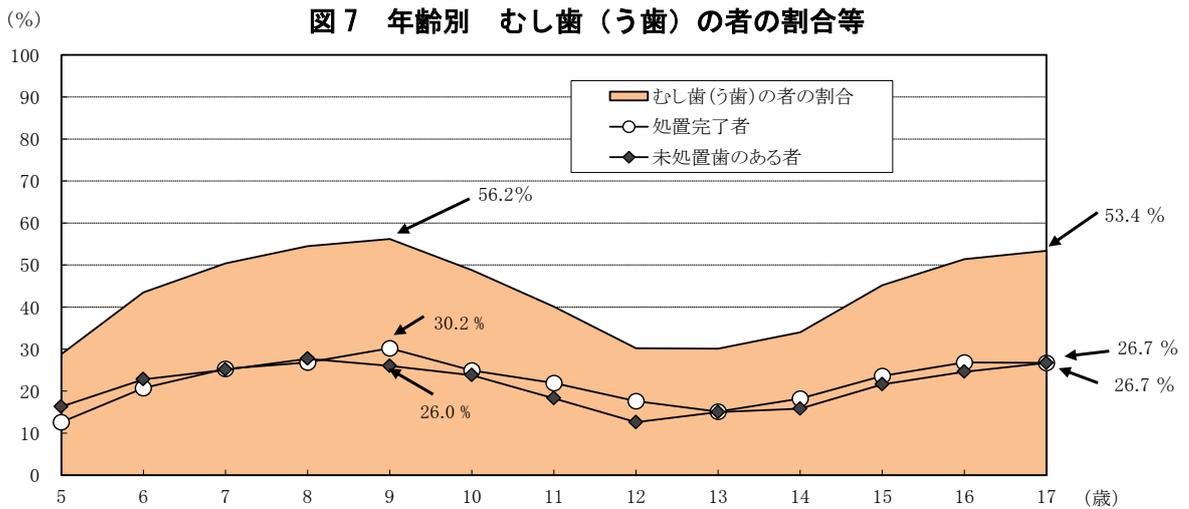
6 「蛋白検出の者」とは、尿検査のうち、蛋白第1次検査の結果、尿中に蛋白が検出(陽性(+以上)又は疑陽性(±)と判定)された者である。

2 主な疾病・異常等の状況

(1) むし歯（う歯）（図7，表7）

「むし歯（う歯）」の者の割合は、幼稚園が28.8%、小学校48.8%、中学校31.5%、高等学校49.9%となっている。

年齢別にみると、9歳が56.2%と最も高く、次いで8歳が54.5%の順となっており、17歳も53.4%と高い割合になっている。また、7歳及び9歳から16歳は、処置完了者の割合が未処置歯のある者の割合を上回っている。

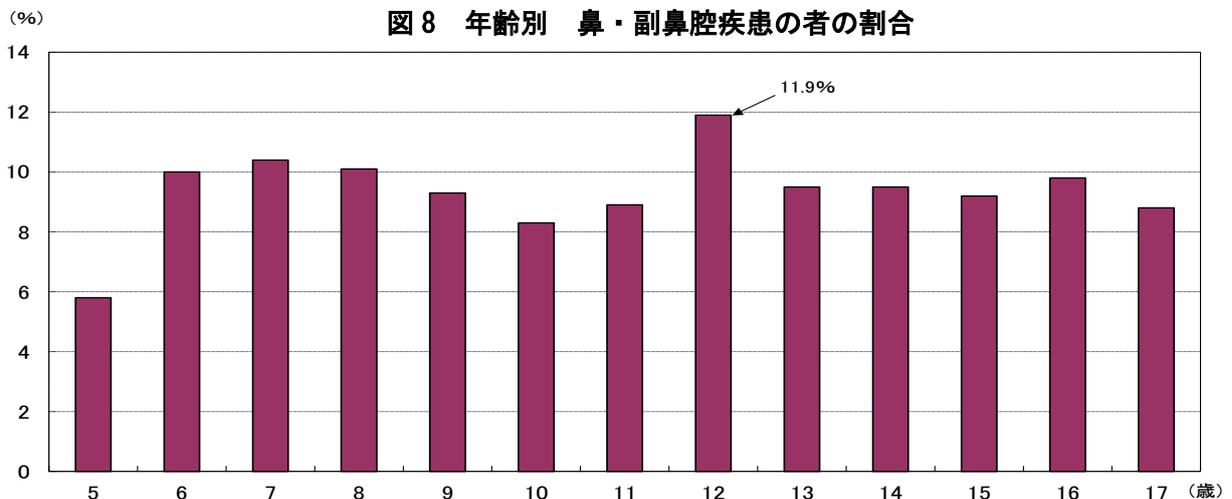


(2) 裸眼視力（表7）

「裸眼視力1.0未満の者」の割合は、幼稚園で28.9%、小学校で30.8%、中学校で54.4%となっている。（高等学校はサンプル数が少ないため非公表）。

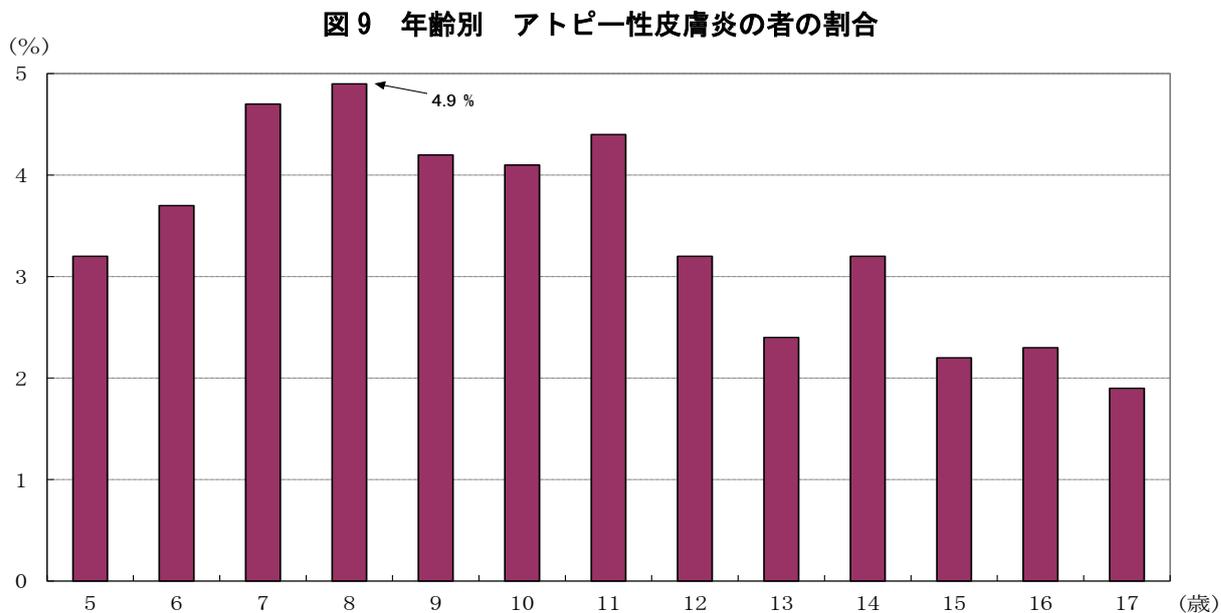
(3) 鼻・副鼻腔疾患（図8，表7）

「鼻・副鼻腔疾患」（蓄膿症，アレルギー性鼻炎（花粉症等）等）の者の割合は、幼稚園5.8%、小学校9.5%、中学校10.3%、高等学校で9.3%となっている。年齢別にみると、12歳が11.9%で最も高い。



(4) アトピー性皮膚炎 (図9, 表7)

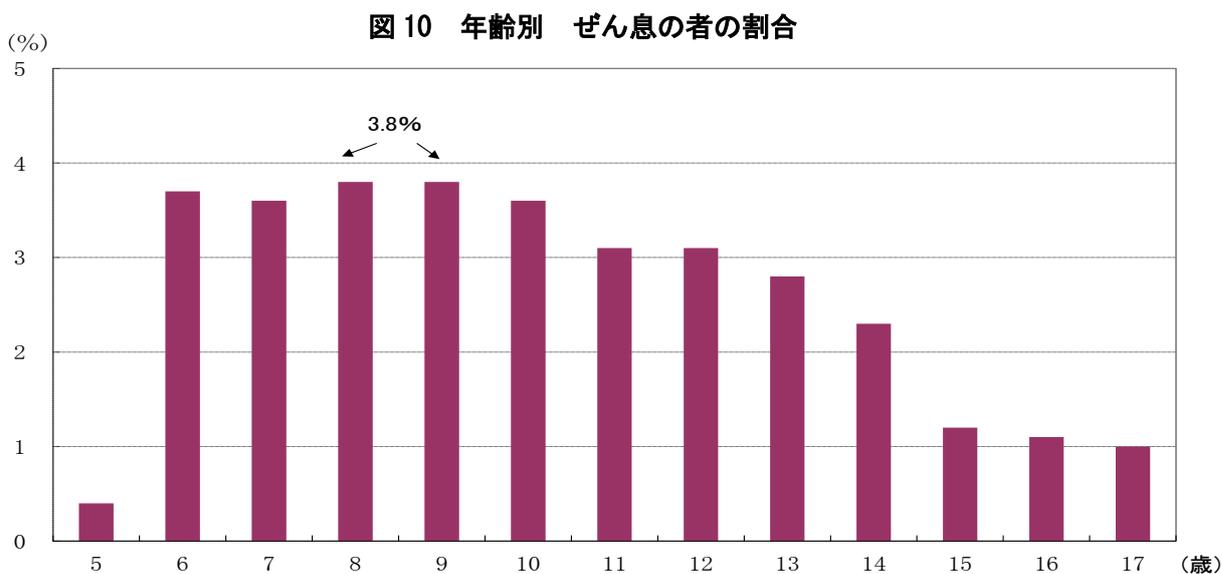
「アトピー性皮膚炎」の者の割合は、幼稚園では3.2%, 小学校4.3%, 中学校2.9%, 高等学校で2.1%となっている。年齢別にみると、5歳から年齢が進むにつれて高くなり、8歳が4.9%と最も高く、9歳以降は減少傾向にある。



(5) ぜん息 (図10, 表7)

「ぜん息」の者の割合は、幼稚園では0.4%, 小学校3.6%, 中学校2.7%, 高等学校で1.1%となっている。年齢別にみると、6歳から12歳の各年齢で3%を超えており、8歳及び9歳が3.8%と最も高くなっている。

また、12歳以降は年齢が進むにつれて減少している。



3 主な疾病・異常等の推移 (表8)

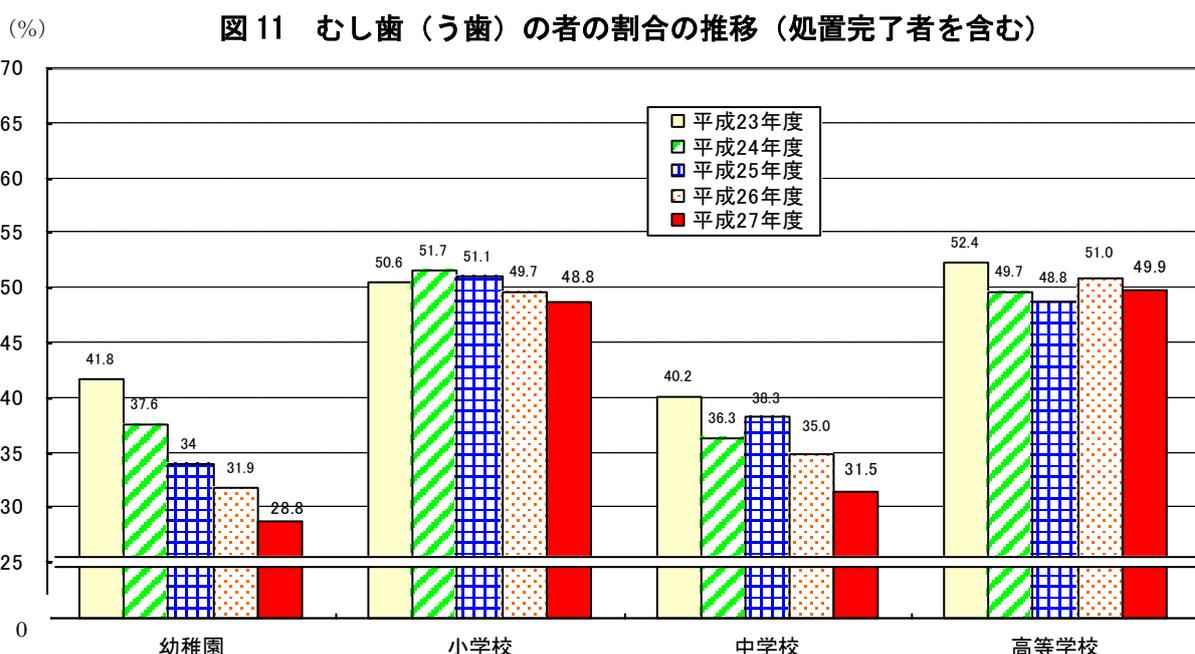
疾病・異常等の主なものについて、平成23年度から27年度までの推移をみると次のとおりである。むし歯(う歯)については、いずれの学校段階においても低下傾向にある。

表8 主な疾病・異常等の推移 (単位:%)

区分	幼稚園					小学校					中学校					高等学校				
	平成23年度	24	25	26	27	平成23年度	24	25	26	27	平成23年度	24	25	26	27	平成23年度	24	25	26	27
裸眼視力1.0未満の者	X	X	X	18.3	28.9	26.7	27.9	27.7	26.7	30.8	X	51.2	X	X	54.4	X	53.1	62.3	41.3	X
むし歯(う歯)	41.8	37.6	34.0	31.9	28.8	50.6	51.7	51.1	49.7	48.8	40.2	36.3	38.3	35.0	31.5	52.4	49.7	48.8	51.0	49.9
鼻・副鼻腔疾患	5.5	4.8	7.0	8.9	5.8	12.4	12.2	14.0	12.8	9.5	8.0	9.8	9.3	10.7	10.3	9.4	8.4	9.5	6.1	9.3
眼の疾病・異常	0.9	2.3	5.5	3.0	4.0	6.1	6.4	6.7	7.3	5.7	5.4	5.8	4.5	6.4	6.6	4.3	3.6	4.0	4.0	4.9
耳疾患	2.9	4.3	11.0	2.7	4.4	4.7	4.6	4.5	5.5	4.5	3.5	3.1	3.0	2.6	3.3	1.6	1.4	2.2	2.5	1.9
ぜん息	3.0	1.3	3.3	2.1	0.4	3.7	3.3	3.2	3.4	3.6	1.7	2.6	2.2	3.6	2.7	1.2	1.1	1.2	0.8	1.1
歯列・咬合	1.0	1.6	1.9	3.2	4.6	2.6	3.5	4.6	4.3	6.0	4.1	4.7	6.4	5.5	5.5	5.8	3.6	4.7	4.3	5.2
心電図異常	2.9	2.3	2.5	1.7	3.9	3.5	3.0	3.5	3.7	4.2	3.7	3.7	2.9	3.9	3.8
アトピー性皮膚炎	3.1	3.5	3.7	3.2	3.2	3.6	3.9	2.9	3.7	4.3	2.6	3.1	3.2	3.6	2.9	2.8	1.5	2.3	2.3	2.1
蛋白検出の者	-	0.0	0.2	0.2	0.5	0.7	0.7	0.9	0.9	0.7	3.1	3.8	3.2	4.1	4.0	2.5	2.6	3.2	4.1	3.6
歯肉の状態	0.1	-	0.0	-	0.2	1.2	1.6	2.6	2.5	2.4	4.3	4.6	4.5	5.8	4.1	5.4	4.2	5.7	5.4	6.7
歯垢の状態	0.4	0.1	0.7	0.3	0.1	1.6	2.2	3.9	3.0	3.3	4.2	6.0	5.3	5.5	3.8	5.7	5.0	7.4	5.1	5.2
口腔咽喉頭疾患・異常	7.1	0.9	1.9	1.4	1.9	1.6	1.2	1.3	0.6	1.0	0.8	0.6	0.6	0.4	0.3	0.3	0.3	0.3	0.2	0.2
その他の皮膚疾患	0.7	1.6	0.8	1.4	1.4	0.7	0.6	0.6	0.8	0.9	0.1	0.4	0.2	0.2	0.5	0.3	0.2	0.2	0.2	0.3

むし歯(う歯)時系列 (図11, 表8)

平成27年度の「むし歯(う歯)」の者の割合は、いずれの学校段階においても前年度を下回っている。平成23年度以降の推移をみると、「むし歯(う歯)」の者の割合は、いずれの学校段階においても減少傾向にある。



Ⅲ 全国値との比較

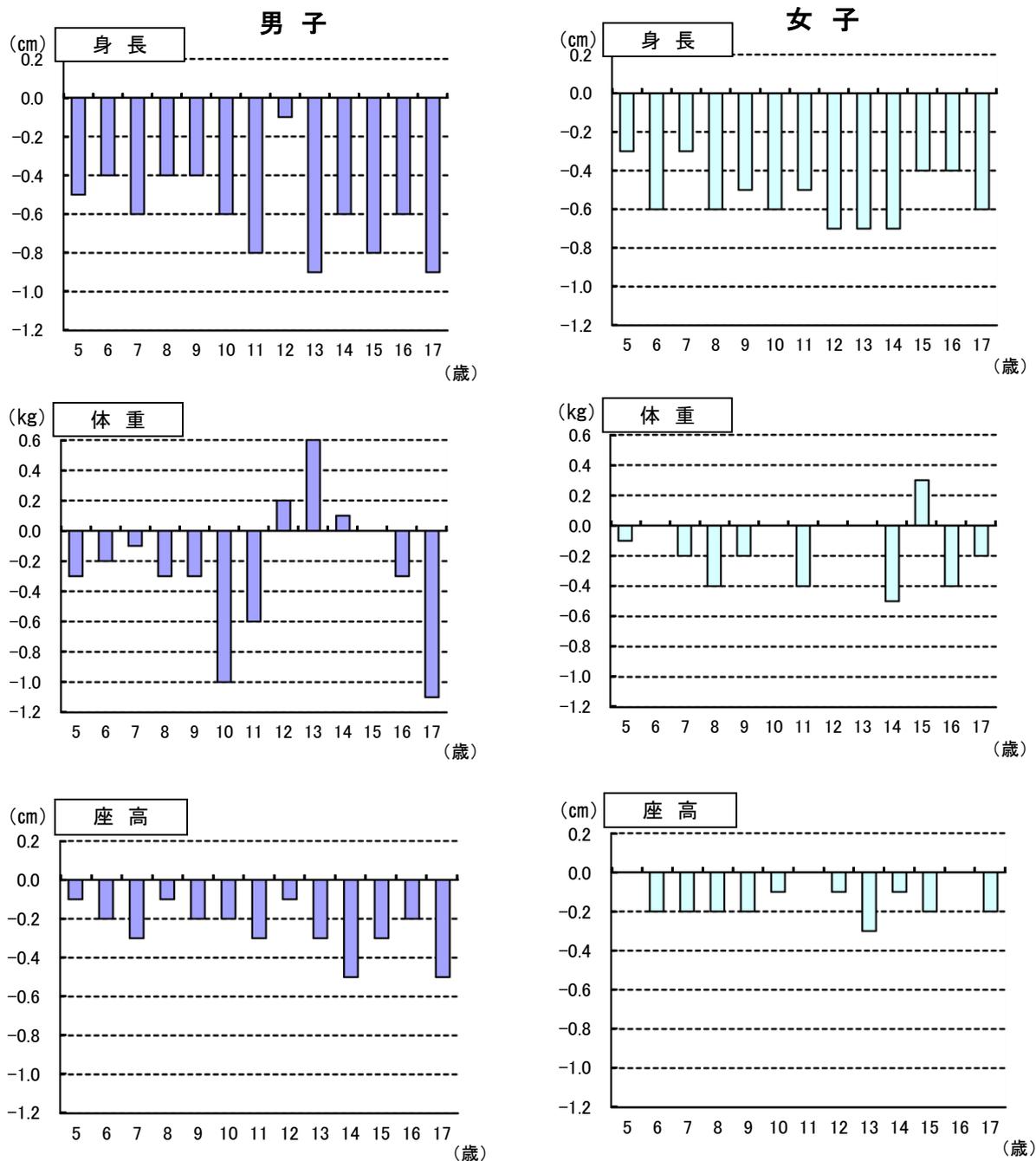
1 発育状態

(1) 全国平均体格との差 (図12)

広島県平均値と全国平均値を比較してみると、次のとおりである。
全体的に全国平均値を下回る傾向にある。

図12 年齢別 体格の全国平均値との差

(全国平均値=0.0)



(2) 総発育量の全国平均値との比較 (表9)

総発育量をみると、男子では身長 58.8cm、体重 42.4kg、座高 29.6cm であり、全国平均値より身長は 1.1cm、体重は 0.9 kg、座高は 0.4cm 下回っている。

女子の総発育量は、身長 47.8cm、体重 34.3kg、座高 24.4cm であり、全国平均値より体重は 0.1kg、座高は 0.2 cm 上回っている。

表9 総発育量の全国平均値との比較

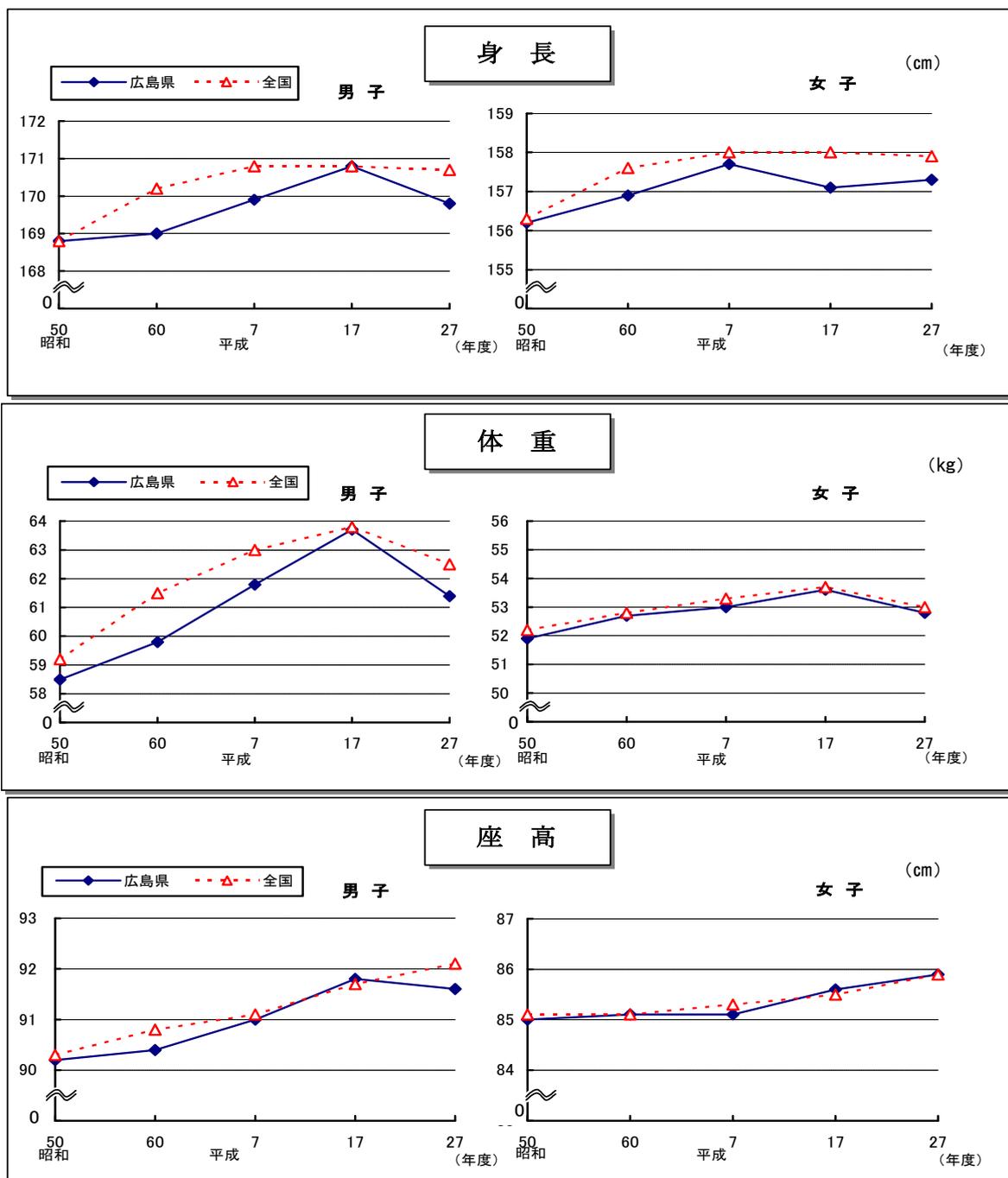
区 分		男 子(平成9年度生まれ)				女 子(平成9年度生まれ)			
		5歳時の体格 (平成15年度) A	17歳時の体格 (平成27年度) B	総 発 育 量		5歳時の体格 (平成15年度) A	17歳時の体格 (平成27年度) B	総 発 育 量	
				B-A	全国差			B-A	全国差
身 長 (cm)	広島県	111.0	169.8	58.8	△ 1.1	109.5	157.3	47.8	△ 0.1
	全 国	110.8	170.7	59.9	-	110.0	157.9	47.9	-
体 重 (kg)	広島県	19.0	61.4	42.4	△ 0.9	18.5	52.8	34.3	0.1
	全 国	19.2	62.5	43.3	-	18.8	53.0	34.2	-
座 高 (cm)	広島県	62.0	91.6	29.6	△ 0.4	61.3	85.7	24.4	0.2
	全 国	62.1	92.1	30.0	-	61.7	85.9	24.2	-

(注) 総発育量とは、平成 27 年度の 17 歳（調査対象の最高年齢）の体格から、12 年前（平成 15 年度）の 5 歳（調査対象の最小年齢で現在の 17 歳）の体格を差し引いた数値である。

(3) 17歳の体格の推移 (図13)

17歳の身長、体重、座高(平均値)の推移を昭和50年から10年ごとにみると、平成17年の男子の座高が全国平均値を上回っている以外は、身長、体重及び座高の全てにおいて、全国平均値を下回るか、あるいは同じ値となっている。

図13 17歳の体格の推移



(4) 肥満傾向児・痩身傾向児の全国出現率との比較

ア 肥満傾向児 (図14, 図15)

年齢別に全国の出現率と比較してみると、男子については、6歳、7歳、13歳、14歳及び15歳について全国値を上回っている。

女子については、5歳、6歳、9歳、10歳、12歳、13歳、14歳、16歳及び17歳で全国値を上回っている。

図14 年齢別 肥満傾向児の全国出現率との比較 (男子)

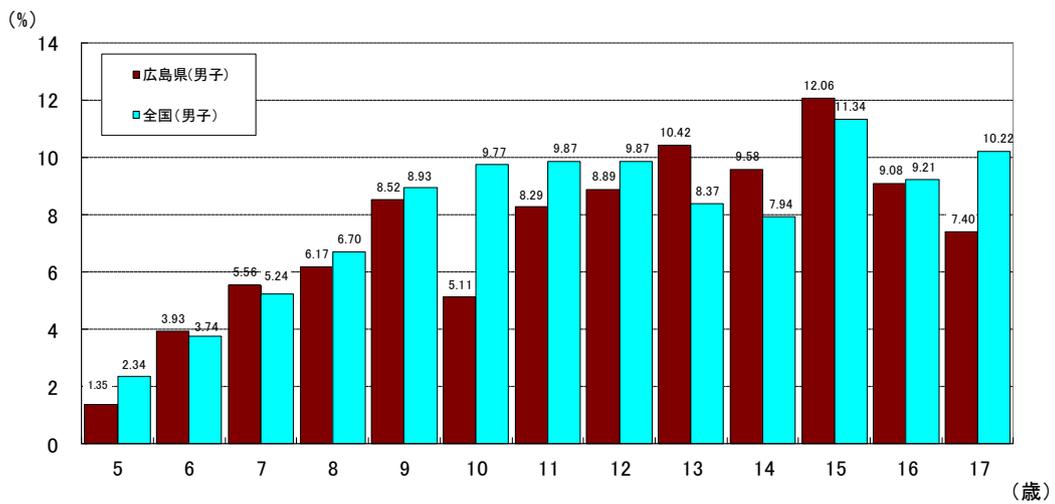
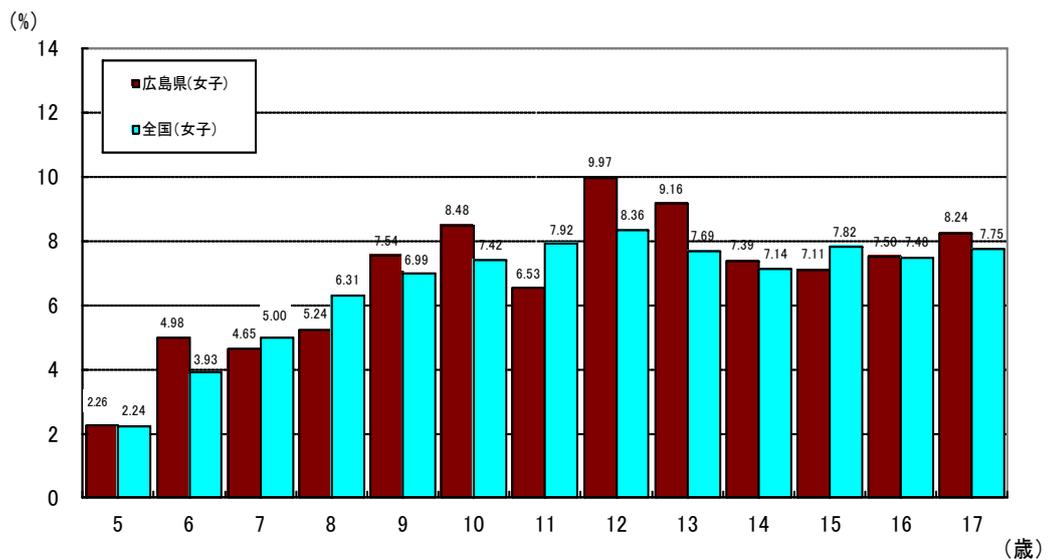


図15 年齢別 肥満傾向児の全国出現率との比較 (女子)



イ 痩身傾向児 (図16, 図17)

年齢別に全国の出現率と比較してみると、男子については11歳以降で全国値を下回っている。

女子については、全ての年齢で全国を下回っている。

図16 年齢別 痩身傾向児の全国出現率との比較 (男子)

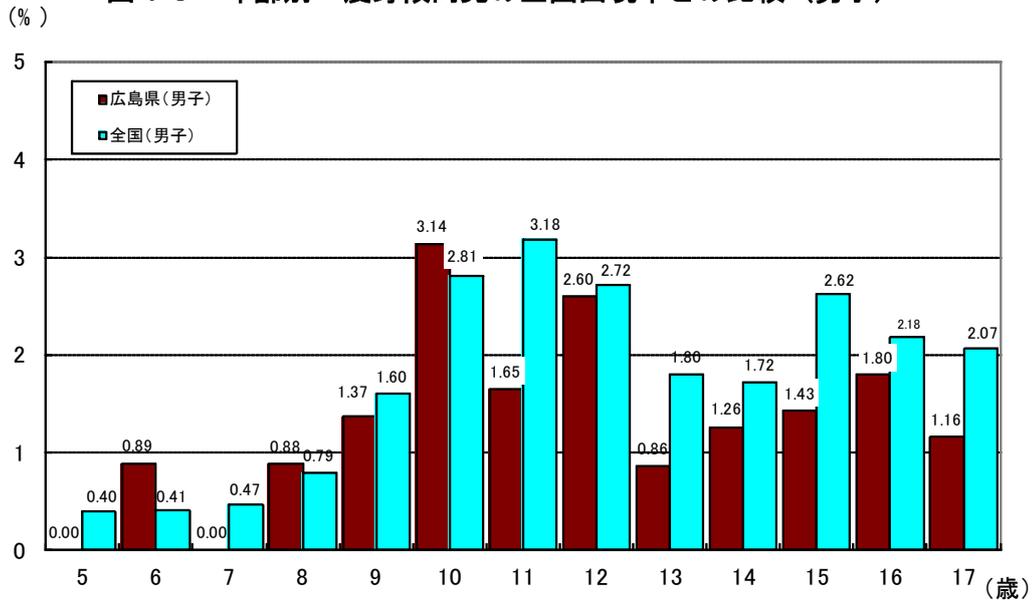
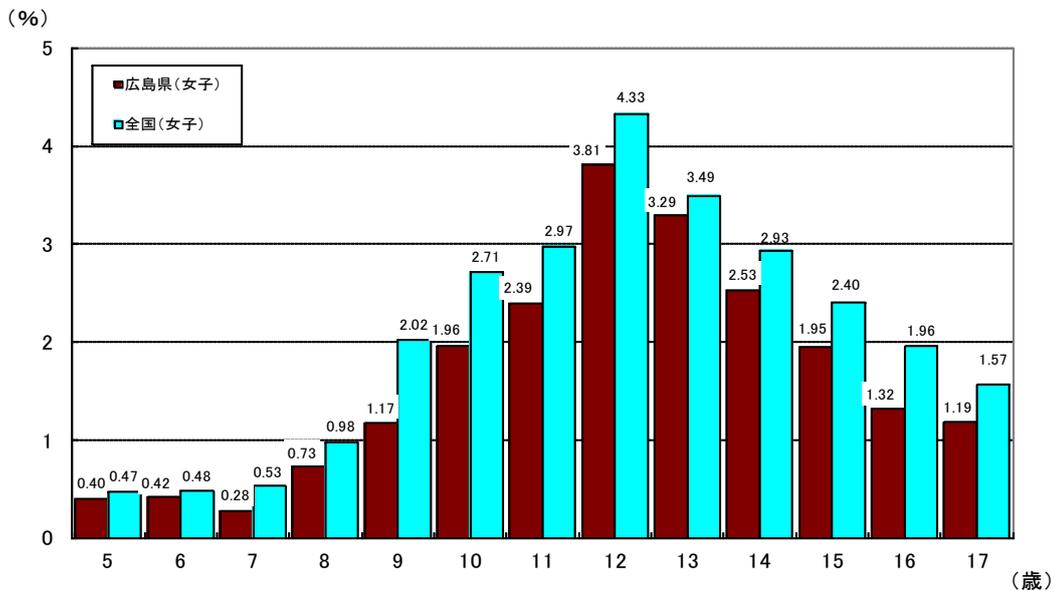


図17 年齢別 痩身傾向児の全国出現率との比較 (女子)



2 健康状態 (図18, 図19, 図20, 図21, 図22)

疾病・異常の被患率等について、全国と比較してみると「むし歯(う歯)」の者の割合は、全ての学校段階において全国値を下回っており、特に中学校においては9.0ポイントと大きく下回っている。

「裸眼視力1.0未満の者」の割合は、公表されている幼稚園、小学校及び中学校のうち、幼稚園、中学校で全国値を上回っている。

「鼻・副鼻腔疾患」の者の割合は、幼稚園及び高等学校で全国値を上回っている。

「アトピー性皮膚炎」の者の割合は、いずれの学校段階においても全国と同程度若しくは全国値を上回っている。

「ぜん息」の者の割合は、いずれの学校段階において全国値を下回っている。

図18 むし歯(う歯)の者の割合の全国との比較

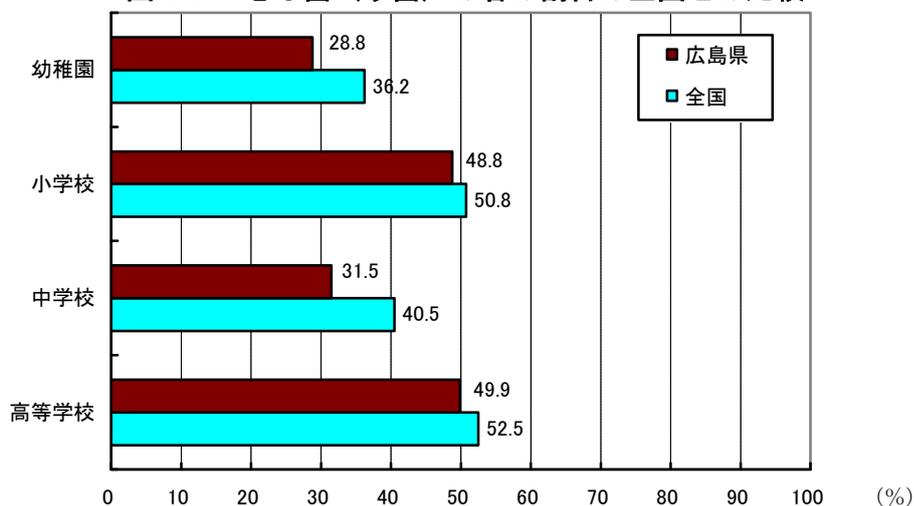
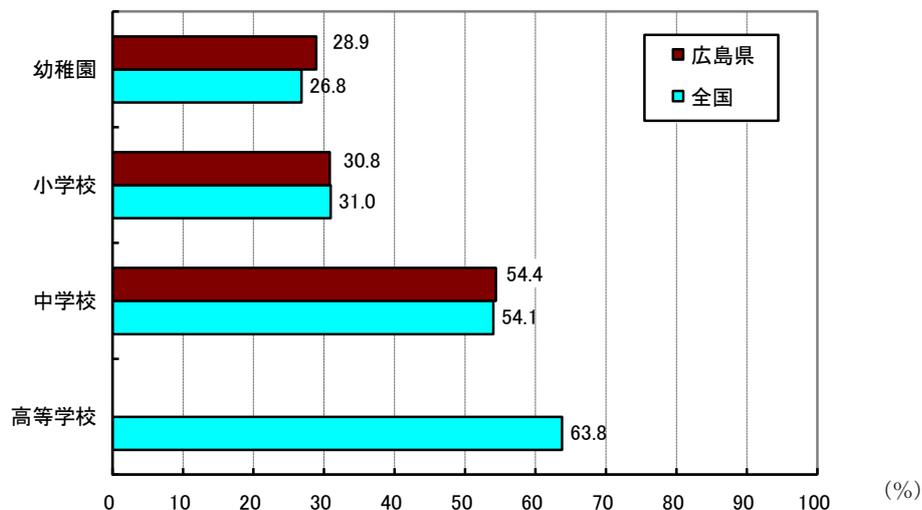


図19 裸眼視力1.0未満の者の割合の全国との比較



(注) 広島県の高等学校はサンプル数が少ないため非公表

図20 鼻・副鼻腔疾患の者の割合の全国との比較

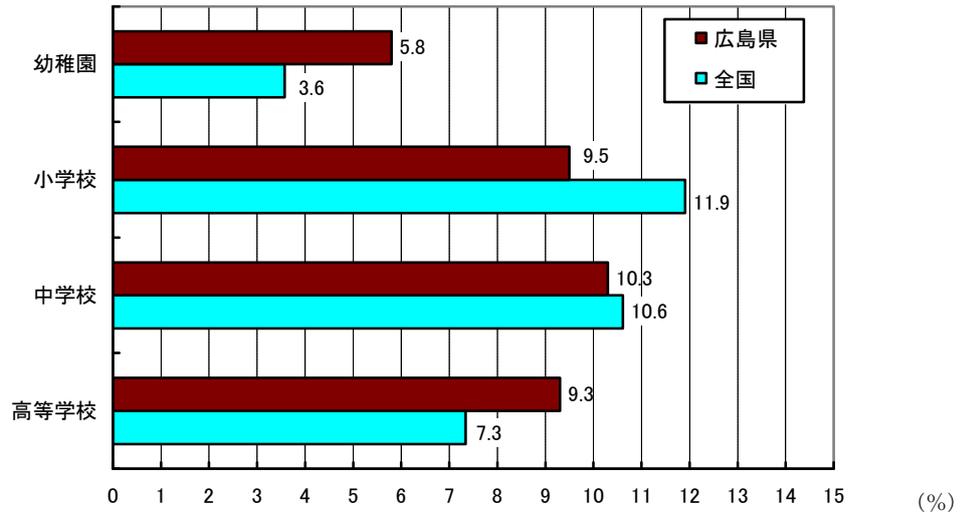


図21 アトピー性皮膚炎の者の割合の全国との比較

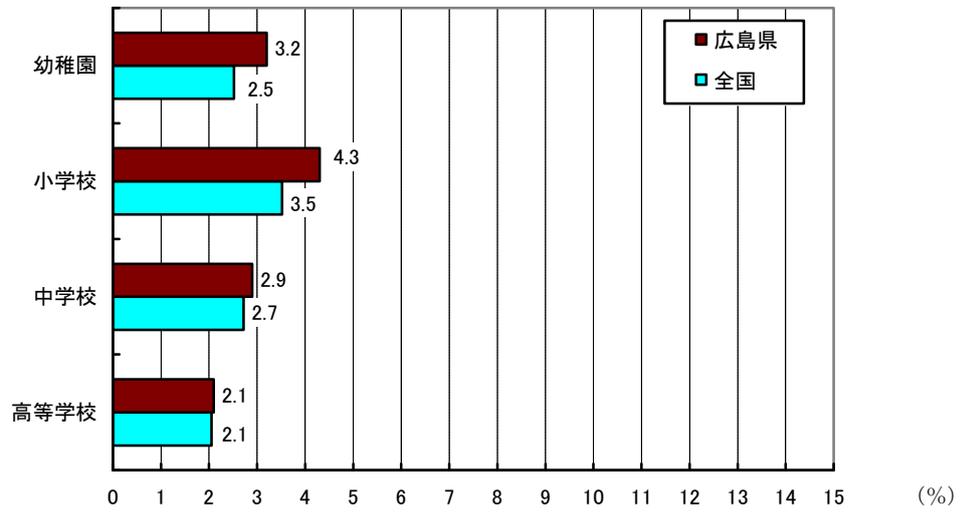
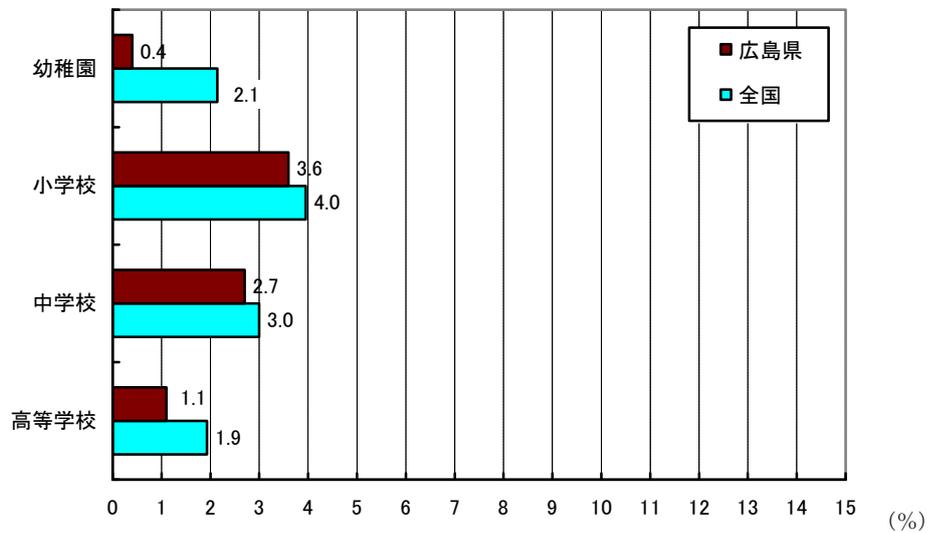


図22 ぜん息の者の割合の全国との比較



問い合わせ先

広島県総務局統計課 消費経済・教育統計グループ

TEL (082) 513-2534(ダイヤルイン) FAX (082) 211-3575

◇ ◆広島県ホームページ◆ ◇

広島県では、広島県の豊富な統計資料などを Web 上で公開しています。

広島県の統計データを調べたいときは、すぐにアクセス！！

ホームページアドレス <http://www.pref.hiroshima.lg.jp/soshiki/21/>

The screenshot shows the official website of Hiroshima Prefecture. The main navigation bar includes categories like 'くらし・環境', '防災・安全', '観光・文化', 'まちづくり', '健康・福祉', '子育て・教育', 'しごと・産業', '平和・国際', and '県政情報'. The '統計課' (Statistics Section) is highlighted in the main menu. Below the navigation, there is a '最新情報' (Latest Information) section with several news items dated from 2015 to 2016. A '主な広島県の指標' (Main Indicators of Hiroshima Prefecture) section is also visible, featuring a table of key statistics.

項目	2015年10月1日更新	2015年10月1日更新	2015年10月1日更新	2015年10月1日更新
総人口	2,827,379人	269,866円	103.9(平成22=100)	111.7(平成22=100)
世帯数	1,011,000世帯	103.9(平成22=100)	103.9(平成22=100)	111.7(平成22=100)
労働力人口	1,117,000人	103.9(平成22=100)	103.9(平成22=100)	111.7(平成22=100)
労働力人口	1,117,000人	103.9(平成22=100)	103.9(平成22=100)	111.7(平成22=100)

資料第 1313 号 平成 27 年度 学校保健統計報告 (学校保健統計調査の結果)

平成 28 年 3 月発行 編集発行 広島県総務局統計課

〒730-8511 広島市中区基町 10-52 TEL (082)513-2534 (ダイヤルイン)

この報告書の内容は、文部科学省及び広島県のホームページでも提供しています。

「学校保健統計調査」及び「広島県学校保健統計調査」で検索してください。

ホームページアドレス

文部科学省http://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/chousa05/hoken/1268826.htm

広島県<http://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/toukei/gakkohokentoukeityousa.html>